

**世界初ボディ内蔵手ぶれ補正機構搭載の  
レンズ交換式デジタル一眼レフカメラ「コニカミノルタ -7 DIGITAL」が  
『カメラグランプリ 2005』を受賞**

2005年5月20日

コニカミノルタフォトイメージング株式会社（社長：宮地 剛）は、昨年11月に発売した世界初<sup>1</sup>ボディ内蔵CCDシフト方式手ぶれ補正機構を搭載のレンズ交換式デジタル一眼レフカメラ「コニカミノルタ -7 DIGITAL」が、この度『カメラグランプリ2005』を受賞したことをお知らせいたします。

1 レンズ交換式デジタル一眼レフカメラにおいて

今回の「コニカミノルタ -7 DIGITAL」の受賞は、ボディ内蔵手ぶれ補正機構や、ハイアマチュアユーザーのニーズに応える高機能を備えながら初心者にもわかりやすい大型液晶による操作メニューを搭載するなど、ユーザーの使いやすさを第一に考えたカメラ造りの姿勢とそれを実現する技術開発力が高く評価された結果であると考えられています。

### 【受賞の概要】

- ・賞名 カメラグランプリ2005
- ・受賞理由 コニカミノルタとして初のデジタル一眼レフでありながら、ボディ内蔵の手ぶれ補正アンチシェイク（AS）を搭載し、すべてのレンズで手ぶれ補正を実現した技術が高く評価された。この技術はAE（自動露出制御）、AF（オートフォーカス）に次ぐ、写真撮影における画期的な技術だといえる。また、高レスポンスと高画質を実現した新画像エンジンSUPHEED II(サフィードツ)を搭載し、性能、価格、デザインなど、すべてが高次元でバランスのとれたカメラである。初心者にもわかりやすい大型液晶による操作メニューなど、ユーザーのことを考え抜いたデジタル一眼レフカメラだといえる。

この『カメラグランプリ』は、カメラ記者クラブ（写真・カメラ雑誌のメカニズム担当記者、12誌14名）が主催し、カメラグランプリ実行委員会の運営のもと、毎年、一年間に日本国内で発売されたスチルカメラの中から最も優れたカメラ機種に対して贈られるものです。選考は、カメラ記者クラブ会員をはじめ、記者クラブ加盟雑誌の編集長または代表者、およびカメラグランプリ実行委員から委託された学識経験者、カメラメカニズムライター、写真家等、総勢51名の選考委員により行われました。また、今回選考対象となったカメラは2004年4月1日から2005年3月31日までに発売された192機種でした。

本賞は、1984年に制定されて以来、今年で22回目を迎えますが、当社としては第2回（1985年）「-7000」、第11回（1994年）「-707si」、第13回（1996年）「TC-1」、第16回（1999年）「-9」、第18回（2001年）「-7」に続く6度目の栄誉となります。

なお本賞の贈呈式は、6月1日（写真の日）に渋谷区の青学会館にて行われます。

### お問い合わせ先

報道関係	(一般紙、経済誌)	(写真業界紙誌、専門誌、一般雑誌)
	コニカミノルタホールディングス株式会社 広報グループ TEL.03-6250-2100	コニカミノルタフォトイメージング株式会社 総務部広報宣伝グループ TEL.03-3349-5044
お客様	コニカミノルタお客様センター      フリーコール 0120-162-414	
インターネット	コニカミノルタホームページ カメラ統合ポータルサイト 「ディマージュ」製品情報サイト	: <a href="http://konicaminolta.jp/">http://konicaminolta.jp/</a> : <a href="http://ca.konicaminolta.jp">http://ca.konicaminolta.jp</a> : <a href="http://konicaminolta.jp/dimage/">http://konicaminolta.jp/dimage/</a>